

事業コード	04010106	政策コード	04	政策名	秋田の魅力が際立つ人・もの交流拡大戦略
事業名	FITに対応したキラコンテンツ整備事業	施策コード	01	施策名	地域の力を結集した「総合的な誘客力」の強化
部局名	観光文化スポー	指標コード	01	施策目標(指標)名	国内外からの観光客に選ばれる誘客コンテンツづくりの推進
	課室名	観光振興課	班名	誘客推進班	(tel) 2265
				担当課長名	阪場 進一
				担当者名	羽澤 彩子

評価対象事業(計画)の内容

事業年度 平成30年度 ~ 平成99年度

1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)  
 国では平成28年を「東北観光復興元年」と位置付け、東北観光復興対策交付金等を活用して2020年までに東北の外国人宿泊者数を約3倍の150万人泊に押し上げることを目指している。平成28年における本県の訪日外国人宿泊者数は、対前年比で125.1%と東北全体の123.3%を上回るものの、宿泊者数は東北最下位である。このような状況を踏まえ、台湾や香港等を中心に増加傾向にあるFIT層の誘客促進を図るため、本県のキラコンテンツを整備し、情報発信を強化することで、個人旅行者の誘客を促進する必要がある。

3. 事業目的(どういう状態にしたいのか)  
 増加傾向にある台湾や香港等からの個人旅行者層の誘客促進を図るため、本県ならではのキラコンテンツを整備し、その情報発信を強化する。  
 (重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望

2. 住民ニーズの状況  
 ニーズを把握した対象  
 受益者 一般県民 (時期: H29 年 11 月)  
 ニーズの把握の方法  
 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット  
 その他の手法 (具体的に )  
 ニーズの具体的内容

4. 目的達成のための方法  
 事業の実施主体 県  
 事業の対象者・団体 一般消費者等  
 達成のための手段  
 ・秋田犬を活用したコンテンツ整備とプロモーション ・里山サイクリング整備とプロモーション  
 ・秋田美人をフックとしたコンテンツ整備とプロモーション ・モーグルの聖地「秋田・たざわ湖」ブランディングとプロモーション

訪日外国人旅行者の増加傾向を見据え、台湾やタイ、中国等の市場をターゲットにした誘客への取組を必要としている事業者が多い。

把握していない場合の理由及び今後の方針

理由

今後の方針

比較した代替手段及び選択した手段の有効性  
 本事業での取組に加え、当該他事業で実施している取組を重層的に実施することにより、他の手段では代替できない有効性を有する。

5. 事業の全体計画及び財源 単位(千円)

順位	事業内記	左の説明	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	全体(最終)計画
01	秋田犬を活用したFIT誘客対策事業	「秋田犬ふれあいライン」沿線における秋田犬とのふれあい展示のあり方を整備するとともに認知度向上を促進する集中キャンペーンを展開する。	13,499	13,499	13,499	13,499	13,499	13,499	
02	AKITA里山サイクリング推進事業	台湾や香港等のサイクリング愛好者に対して、「高質な田舎・秋田」をイメージした里山サイクリング体験プログラムを造成し、情報発信する。	13,642	13,642	13,642	13,642	13,642	13,642	
03	“あきたで美人に！”推進事業	「あきた美人」を育ててきた各種コンテンツについて、認知度向上と旅行商品の造成促進を図る。	14,591	14,591	14,591	14,591	14,591	14,591	
04	モーグルの聖地「秋田・たざわ湖」ブランド化事業	たざわ湖スキー場の「モーグルの聖地」としてのブランドを活用し、スノーアクティビティの充実を図るとともに、旅行博等を活用した認知度向上を図る。	11,679	11,679	11,679	11,679	11,679	11,679	
	財源内記	左の説明	53,411	53,411	53,411	53,411	53,411	53,411	
	国庫補助金	東北観光復興対策交付金	42,727						
	県債								
	その他	労働保険料納付金							
	一般財源		10,684	53,411	53,411	53,411	53,411	53,411	

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		秋田県外国人延べ宿泊者数の増加							
指標	指標名	秋田県外国人延べ宿泊者数（全施設）					指標の種類		
	指標式	秋田県外国人宿泊者数×泊数					成果指標 業績指標		
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度
	目標a			125,000	150,000	175,000	200,000		
	実績b	66,950		データ等の出典					
	東北			観光庁宿泊旅行統計調査					
全国	3,399,890								
把握する時期		当該年度中		月	翌年度	07月	翌々年度	月	

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北								
全国									
把握する時期		当該年度中		月	翌年度	月	翌々年度	月	

指標を設定することができない場合の効果の把握方法  
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

**事業の必要性**

**現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性**  
 日本全国が海外からの誘客に取り組む中で本県への誘客を促進するためには、本県ならではの選ばれるキラーコンテンツを整備する必要がある。

**住民ニーズに照らした事業の必要性**  
 国内旅行市場が縮小するなか、増加傾向にある訪日外国人旅行者に対する誘客活動へのニーズは大きい。

**事業の県関与の必要性**  
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの  
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

海外からの誘客に必要なコンテンツ整備は、関係自治体等と連携しながら、県レベルでの共通した広域的整備が図られる必要がある。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
重点事業		その他